

1 研究主題

考えを伝える・比べる・深める中村っ子

～タブレットを進める「協働的な学び」を通して～

2 研究主題設定の理由

本校ではこれまで、「なかまなビジョン」の「展開」の段階において、児童が自分の考えをもち、なかまと対話する活動を通して、「わかった!」「できた!」「伝えられた!」と実感できる児童を育てるための授業実践を進めてきた。その結果、自分の考えをもち、話す力・聞く力を高めることができた実感した児童が増えた。その一方、「自分の意見に自信がもてない、正しいことを言わなくてはならないという思いから、全体で発表することが苦手」「発表時間が長いため、聞くばかりで自分の意見の見直しができない」という課題が残った。

そこで、児童が自分の考えにさらに自信をもって発表することができるようにするために、タブレットを活用して自分の考えを伝える。そして、友達の考えを知り、友達の様々な考えと比べながら自分の考えをより深めていくことができるようにする。その際に、自分の考えをもっていても発言をすることが苦手な児童がタブレットを活用することで、全員の考えを共有できるようにし、自信を持って授業で自分の考えを発表することができるようにする。

まず、教師や児童が、タブレットPCを使用する機会を増やし、教師も児童もタブレットを使用することに慣れ、手書き、フリック、キーボード入力など使用に関する基本的な技術の習熟を図る。次に、タブレットを活用して、自分の考えを伝えたり、意思表示をしたりする。また、友達と考えを共有し、自分の考えと比べる活動を行っていく。最後に、観点をもって友達の考えと比べ、自らの考えをより明確にし、深めていく。以上の活動を行うことで、自分の考えに自信をもって伝え、友達の考えと比べ、自分の考えをより深めていくことのできる児童に育つと考える。

